

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名	空港・港湾等アクセス 市道 三田新田幹線 <small>さんだしんでんかん さんだしんでんかん</small>	事業区分	地方道	事業主体	新潟県上越市	
起終点	自：新潟県上越市大字三ツ橋 <small>じょうえつ おおあざみつはし</small>		至：新潟県上越市大字三田新田 <small>じょうえつ おおあざさんだしんでん</small>		延長	1.1km
事業概要						
市道三田新田幹線は、上越市の北部に位置する都市計画道路黒井藤野新田線の一部区間を構成する延長約1.1kmの道路である。						
当該道路は、重要港湾直江津港と国道18号及び北陸自動車道上越ICへ連絡する道路であり、港湾や沿線の産業団地等の円滑な物流の確保等を目的としている。						
R元年度事業化	H10年度都市計画決定	R2年度用地着手	R6年度工事着手			
全体事業費	約26億円	事業進捗率	約28%	供用済延長	— km	
計画交通量	9,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年 令和5年		
	(事業全体) 3.4 (残事業) 5.2	(残事業)/(事業全体) 15/ 22億円 事業費：14/ 22億円 維持管理費：0.24/0.24億円	(残事業)/(事業全体) 76/ 76億円 走行時間短縮便益：67/ 67億円 走行経費減少便益：8.8/ 8.8億円 交通事故減少便益：0.03/0.03億円			
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C=2.6~3.9 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.0~5.9 (交通量±10%)						
事業費：B/C=3.1~3.8 (事業費±10%) 事業費：B/C=4.7~6.3 (事業費±10%)						
事業期間：B/C=3.2~3.7 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=5.1~5.4 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
①物流効率化への支援						
・国道18号や北陸自動車道から、県営南部産業団地及び上越テクノセンターへのアクセスルートが形成され、物流効率化が期待される。						
・重要港湾である直江津港へのアクセス性が向上し、直江津港の利用促進が期待される。						
②交通混雑の緩和						
・国道8号に集中している交通の分散が図られ、朝夕ピーク時の交通混雑の緩和が見込まれる。						
③地域医療への支援						
・第二次救急医療機関（上越総合病院）への所要時間が短縮され、救命率の向上に寄与される。						
関係する地方公共団体等の意見						
都市計画道路黒井藤野新田線建設促進期同盟会や中江有田地区ほ場整備事業推進協議会などから、早期整備の要望を受けている。						
事業評価監視委員会の意見						
事業継続を妥当と認める。						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
周辺環境等に特に変化はない。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地取得率は100%、事業進捗率は約28%である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
用地の取得は完了しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事等を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
サーチャージ盛土材の転用や、他工事の建設発生土を有効活用するなど、コスト縮減を図る。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由						
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。						

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。